

## 論文

# 日米大学生のコミュニケーション・スタイルと快・不快における違い

滝 沢 謙 三

The Differences Between Japanese and American College Students  
in Communication Style  
and the Degree of Pleasantness or Unpleasantness

TAKIZAWA Kenzo

### 目 次

1. はじめに
  2. 日米大学生のコミュニケーション・スタイル比較
  3. 快・不快の日米コミュニケーション・スタイル比較
  4. まとめ
- 参考文献

## 1. はじめに

日米の大学生にどのようなコミュニケーション・スタイルの相違があるのか、その相違はどのような文化背景から生まれているものなのか、又、その相違は、日米相互の大学生を不快にさせるものなのか、好感を与えるものなのかについて論じる。

異議を申し立てるときのストラテジー、褒められた時の反応、依頼表現における丁寧さなどは、その人の価値観やその人が所属する文化によって一定の傾向を見せる。本研究は、コミュニケーション・スタイルの違いを、日本と米国、男性と女性の観点から比較研究し、違いを生む文化背景を考察するものである。ここでのコミュニケーション・スタイルとは、コミュニケーションをする際に、コミュニケーターは、価値観・しきたりなどの文化的背景に基づいて、一定のストラテジーや特徴的工夫を採用するが、そのやり方及び形をいう。

これまでに日米の8歳から17歳の児童・生徒について、会話完成テストを使って会話活動の違いを調査してきた。本発表は、大学生の年代に焦点を当てたもので、1998年から2001年にかけて行った日米大学生のコミュニケーション・スタイル比較研究（平成11年度・12年度科学研究費課題番号11680299）の総括を発表するものである。本稿の構成は、初めに「日米大学生のコミュニケーション・スタイル比較」、次に「快・不快の日米コミュニケーション・スタイル比較」を論じる。

## 2. 日米大学生のコミュニケーション・スタイル比較

### 2.1 研究の目的

日米大学生のコミュニケーション・スタイルの違いを調べ、大学生向けの英語によるコミュニケーション教育に取り入れたい。そのために、日米で違いがあることが予想できる具体的な状況でどのように違うかアンケート調査をし、この調査で集めたデータ（アンケートの回答）を、大学生向

けに、日米のコミュニケーション・スタイルを学ぶ教材を開発する資料とする。

## 2.2 研究の方法

日本語と英語で同じ内容のコミュニケーション・スタイルに関する20の状況設定からなる会話完成テスト形式のアンケート（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」）を作成し、日本人学生には日本語で、米国の学生には英語で実施した。内容は、ある大学生の1日に起こり得る挨拶、依頼、異議、拒否、謝罪、賞賛に対する反応、感謝、主張、忠告などの会話活動を含む状況を含めた。収集した回答（データ）を日米男女の4グループに分けて分析し、相違点を明確にし、その相異を生む文化背景を考察した。回収したアンケートのうち、被験者の条件を、①26歳以下の大学生、②日本の学生においては、日本語を母国語とし、生活の大半を日本で暮らしてきた学生、米国の学生においては英語を母国語とし、生活の大半を米国で暮らしてきた学生として、日米それぞれ、男子25人と女子25人を有効データとした。

## 2.3 日米大学生の比較研究の結果と考察

アンケートの回答を分析した結果、顕著な相違が見られたコミュニケーション・スタイルを取り上げ、その特徴を生む文化背景を考察する。

### 2.3.1 英語のファーストネーム文化

学生間の名前の呼び方の違いに、日米で顕著な違いを見せた。米国の学生間では、ほとんどファーストネームで呼ぶ。一方、日本の学生間では、いろんな呼び方が見られたが、相手が上級生か下級生かで、その関係が明確になる呼び方をした。この違いは、対人関係の捉え方に、本質の違いがあることを示している。

大学のカフェテリアで「後輩に塩をとってもらおう」、「先輩に塩を取って

もらう」の場面（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」Part I カフェテリア4、5参照）では、米国人学生は、カフェテリアで塩を取ってもらおうとするとき、85%の学生が相手のファーストネームかファーストネームの愛称を呼んでから依頼した。相手が後輩か先輩かで呼び方にほとんど差がなく、また男女でもほとんど差がなく、ほとんどの学生が相手のファーストネームを呼んでから依頼文に入った。ファーストネーム以外の回答は、10%が名前で呼びかけることをせずに依頼文を言い、3%がDude / man / guysで、2%がファミリーネームで呼びかけていた。

表－1：米国人学生の依頼時における相手の呼び方

単位：%

	相手が後輩		相手が先輩	
	男子	女子	男子	女子
ファーストネーム/ファーストネームの愛称	80	84	88	88
ファミリーネーム	4	4	0	0
Dude / man / guys	8	0	4	4
氏名や敬称で呼びかけをしない	8	12	8	8
合 計	100	100	100	100

米国人には、立場を超えてファーストネームで呼び合えることを、親しみのある平等の関係を具現する好ましい人間関係であるという価値観が根底にある。

一方、日本人の大学生は、ファーストネームで呼ぶのは、相手が後輩の場合に男子16%、女子12%（そのうち8%は「さん」づけ）であった。日本人学生は、相手が先輩か後輩かで呼び方を変える。相手が先輩になると、ファーストネームで呼ぶのは、ほとんど見られなくなる。

表-2：日本人学生の依頼時における相手の呼び方

単位：%

	相手が後輩		相手が先輩	
	男子	女子	男子	女子
ファーストネームのみ	16	4	0	0
ファーストネーム+「君」	0	8	0	0
ファーストネーム+「さん」	0	0	0	4
ファミリーネームのみ	44	4	0	0
ファミリーネーム+「君」	36	84	0	0
ファミリーネーム+「さん」	0	0	80	40
ファミリーネーム+「先輩」	0	0	0	44
敬称（「先輩」「キャプテン」）	0	0	12	8
氏名や敬称で呼びかけをしない	4	0	8	4
合計	100	100	100	100

日本人学生は、相手との人間関係を縦の視点でとらえ、自分と相手の位置づけに応じて、相手の呼び方を決める。この日米の違いは、日米間でコミュニケーションをする際、日米どちらの規準に合わせるかで複雑な葛藤が生じる可能性を含んでいる。たとえば、人間関係を縦の関係でとらえる日本人の文化を知る米国人は、日本人にファーストネームで呼び捨てにされるのを不快に感じる場合もある。

### 2.3.2 日本語のウチ言語

日本語では、仲間内で話す言語（ウチ言語）とフォーマルな言語の差が極端に大きい。「親に臨時の送金をお願いしたい」（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」Part IV、20参照）における親への依頼文を分析した。井出（1986）の丁寧度に関する研究（「表現の丁寧度の平均値と標準偏差」）によると、依頼表現において、日本語の「・・・してください」と英語の“Can you ---”がほぼ同じ丁寧度である。そこで「・・・してください」と“Can you ---”を標準として、それより丁寧か、

くだけているかでデータを分類してみると、標準を含めそれ以上の丁寧度の表現を使った学生は、日本人学生が約1割であったのに対して、米国人学生が約9割であった。(下図参照)

表-3：親への依頼表現における丁寧度

単位：%

丁寧度	日本男子	日本女子	米国男子	米国女子
“Can”/「...してください」以上の丁寧な表現	12	12	80	92
“Can”/「...してください」レベルに及ばないくだけた表現	84	88	0	0
間接的・その他	4	0	20	8

注1：「間接的・その他」の例：

“I don't think the allowance will be enough this month (give reasons).”

(米国男子)

“I have slightly mismanaged my money and need an extra 100 bucks.”

(米国女子)

日本人の学生は、親にくだけた表現で依頼し、米国の学生は親に丁寧な表現を使っている。親への依頼は、日本人学生は仲間内で使われるウチ言語を使う状況と考えているのに対し、米国人の学生は、相手が親といえども人に依頼するにはそれなりの丁寧な表現を使うべきと考えている。米大学生が使った表現を下に載せるが、これらの表現は、フォーマルな状況で使われる依頼文と同じ丁寧度である。

米国男子学生の例： [ ] は筆者

- Dad, yeah I was wondering if I could have an extra \$100 this month because ...
- Mom, my money is running short this month. Is there any way I can get

another \$100 from you?

- Hey Dad, I've really been scraping for money the last couple of weeks... Do you think I could get an extra 100 dollars this week? [scrape (金を) ひねり出す。なべの底を scraper でこそげるところからきた表現]

米国女子学生の例

- Mom, I have no food in the refrigerator. Do you think you can put some money in my account, so I can buy some groceries? (\*works like a charm)
- I have really had a lot of out of the ordinary expenses this month & I am running out of money. Is there any way I could get an extra \$100 just for this month?
- I really appreciate all the help you guys give me w/ school, and I hope you understand I wouldn't ask unless I really needed it, but may I have \$100?
- Mama, the money wasn't enough to cover everything, and I would really like to go out a couple times. Would it be possible for me to have some extra money? I'm so sorry for being pushy, I'll try to spend less next month.

上記英語の依頼表現は、呼びかけの部分を代えるだけで相手が誰であっても使える文である。親子といえども個人と個人、対等の関係を理想とする米国の個人主義がある。又、米国の家庭においては、親が子供に丁寧な口の利き方をさせる家庭教育がなされている。

日本語の回答は、「・・・して」「・・・だけだ」「・・・くれない」といった語尾で終わる文で、フォーマルな状況で使える文ではなかった。日本語をフォーマルな状況で正しく使うためには、適切な敬語を正しく使うことが求められるが、くつろいだ仲間内の会話においては、かしこぼった敬語は免除され、簡略化されたウチ言語が使われる。日本語におけるウチ言語の存在は、グループ内でお互いに甘え合い、依存し合う日本的な甘えの文化と関係が深い。日米間のコミュニケーションにおいて、日本語のウ

手言語的感覚を持ち込み、くだけた表現で依頼することで相手を不快にさせる可能性がある。

### 2.3.3 年齢の上下関係

先輩・後輩の関係にある大学のテニスクラブ員を想定した調査（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」Part I カフェテリア4、5参照）で、日本の学生と米国の学生は大きな違いを見せた。調査の結果、相手が先輩か後輩かで日本人学生は、丁寧さのレベルで表現を使い分け、アメリカ人学生は、相手が先輩か後輩に関係なく、ほぼ同じような丁寧さのレベルの文を使った。日本語と英語の丁寧さの度合いを比較するのに、「表現の丁寧度の平均値と標準偏差」（井出1986）を基にして、日本語と英語のデータに見られた表現を丁寧な文から順に並べ、分類した（表-4、表-5参照）。

依頼文の標準的表現である表-4の「12. 取って下さい」と表-5の「13. Can you pass ...?」がほぼ同等の丁寧さの度合いである（井出1986）ので、そこを基準に見ると、日本人学生は、一定のレベルの丁寧さを境に先輩と後輩への言葉の使い方を分けているのがわかる。一方、米国の学生は、先輩・後輩に関係なく、一定の丁寧さで話す。また、男女の表現に大きな違いがない。

先輩・後輩に関わる日米の意識には大きな違いがある。日本の文化背景について、ベネディクトは、彼女の著書「菊と刀」（1946）の中で次のように言い当てている。「日本には、封建時代の日本の階層制度が、近代の中にも深い痕跡を残している。人と挨拶をし、人と接触する時には必ず、お互いの社会的感覚の性質と度合いとを指示せねばならない。相手が親しい人間であるか、目下の者であるか、あるいは目上の者であるかによって別な言葉を使う。おじぎの動作も実に細密な規則と慣例とによって支配さ



表-4：日本の学生の先輩・後輩への依頼表現

単位：人数

依 頼 表 現	相手が後輩		相手が先輩	
	男子	女子	男子	女子
1. 取っていただけますか。	0	0	1	3
2. 取っていただけませんか。	0	0	0	3
3. 貸してもらえませんか。	0	0	1	0
4. 取ってもらえませんか。	0	0	2	2
5. 取ってもらえますか。	0	0	10	9
6. 取ってもらえます。	0	0	4	1
7. 取ってくれませんか。	0	0	2	1
8. 取ってくれますか。	0	0	0	1
9. 取ってくれませんか。	0	0	1	0
10. 塩、いいですか。	0	0	1	0
11. 塩を下さい。	0	0	1	1
12. 取って下さい。	0	0	2	3
13. 取ってもらっていい。	0	0	0	1
14. 取ってもらえんかなー。	0	1	0	0
15. 取ってもらえる。	0	4	0	0
16. 塩取ってもらえるかな。	0	1	0	0
17. 取ってもらっていいかな。	0	1	0	0
18. 取ってくれるかな。	1	0	0	0
19. 取ってくれない。	3	3	0	0
20. 取ってくれる。	2	10	0	0
21. 取ってくれん。	1	0	0	0
22. 取ってくれへん。	1	0	0	0
23. 取ってくんね。	1	0	0	0
24. 取ってくれないか。	1	0	0	0
25. 取ってくれ。	3	0	0	0
26. 取って。	11	5	0	0
27. 塩	1	0	0	0
合 計	25	25	25	25

注)「表現の丁寧度の平均値と標準偏差」(井出1986)で扱っていない表現は、最も近い表現の前後に配置した。特に、13~25の間にはそうした表現が多い。

表-5 : 米国学生の先輩・後輩への依頼表現

単位：人数

依 頼 表 現	相手が後輩		相手が先輩	
	男子	女子	男子	女子
1. Would you mind passing ...?	0	0	2	0
2. Would you please pass ...?	1	1	1	1
3. Could you please pass ...?	1	5	6	9
4. Do you mind if I borrow ...?	0	0	0	1
5. Do you mind if I use ...?	0	0	0	1
6. Could I get ... please?	1	0	1	0
7. Could you pass ...?	6	3	1	1
8. Could I borrow ...?	0	0	1	0
9. Could I have ....?	0	1	0	1
10. Could I use ...?	0	0	0	1
11. Can you pass ..., please?	1	4	1	3
12. Will you pass ...?	0	1	1	0
13. Can you pass...?	5	3	2	4
14. Can you hand ...?	0	1	0	0
15. Can I borrow ...?	0	0	1	0
16. Can I have ....?	2	2	2	0
17. Can I use ...?	0	1	0	0
18. Can I get ...?	1	0	1	0
19. You mind passing ...?	1	0	0	0
20. Pass ... please.	2	1	1	1
21. Wanna pass ...?	0	0	0	1
22. Pass ....	3	2	2	1
23. Give ....	1	0	1	0
24. Throw ...!	0	0	1	0
Total	25	25	25	25

注)「表現の丁寧度の平均値と標準偏差」(井出1986)は、19, 21 の省略のある疑問文や、20のpleaseの付いた命令文を扱っていないので筆者の判断で配置した。

れる。階級、年齢、性別、交際関係、立場、によって構成される階層的秩序（ハイアラキー）の中での己の『所を得ること』を重んじる。こうした階級制度を認める生活の原理は、呼吸することと同じぐらいに彼等にとって自然なことなのだ。」現代日本の大学生も上下関係を明確に言語に反映させる過去の文化を継承している。日本の大学生が先輩へと後輩への話し方で、丁寧さの度合いや相手の呼び方を変えるのは、先輩・後輩の立場による階層的秩序の中で己の「所を得ること」を重んじているからであると言える。

一方、アメリカ人にとって、平等の思想は道徳的基礎であり、基本的人権の根底になっている。社会的地位が明らかにならないようなやり方が好まれ、上下をはっきりさせるのは失礼とみなされる。年齢や社会的階層に関わりなく対等な人間としてお互いに口をきくことをよしとする。だから、米国の学生に日本の学生が持つ先輩・後輩の概念はない。年齢差や学年の違いを超えて、互いに距離のないくつろいだ関係で、率直に対等に話そうとする。

#### 2.3.4 異議の表し方

授業中に教授に異議がある学生は、具体的にどのような言動を取るであろうか（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」Part II 心理学の講義10参照）、日米でどのような違いがあるであろうか、そして、その違いはどこから生じているのであろうかを分析した（表-6参照）。

その場で異議を表明するのは、米国の学生に多く（男子80%、女子60%）、日本の学生に少なかった（男子20%、女子12%）。米国の学生の異議の表明の仕方では一番多いパターンは、挙手をして指名されるのを待ち、自分の考えは正しいかどうかを質問する形が多かった（男子44%、女子36%）。

米国男子大学生の例

- ・ (I would raise my hand and say) Would it also be correct to say that “□□”?

- ・ (Raise a hand and wait for his acknowledgement) Professor Carr, what about the possibility of “□□□”?

米国女子大学生の例

- ・ (raise your hand. If he calls on you, politely say) Excuse me, but I think “□□□.” Could you please tell me why this is wrong?
- ・ (raise my hand) Excuse me, Professor, but couldn't it also be “□□□”?
- ・ (raise my hand) Dr. Carr, I have a question. Do you think “□□□” is a possibility?

日本の学生に「友だちと話す」（授業中の私語）と回答した学生が男子に20%、女子に32%いた。友だちと話をする学生は、米国の回答ではなかった。

米国の学生に目立った、自分の意見はどうかを教授に質問するスタイルは、教授に自分の考えが正しいか問うことで、教授への敬意を表わし、直接の対立を避ける賢明なストラテジーとなっている。元来、米国人には、個人の独立心を重んじる個人主義的な気質があり、自分が正しいかどうか自分ではっきりさせたいとする面がある。この気質は、個人の自由を求めてヨーロッパ社会の圧制を逃れてやってきた初期の開拓者達以来のもので、自分だけを頼って生活を切り開いていかざるを得なかった頃からの伝統的な自力本願（self-reliance）の精神を核にするものである。また、個人を重んじる米国社会では、個人の意見を歓迎する土壌がある。さらに、授業の形態が、学生の意見を取り上げて授業を構成する授業が多く、意見を言うことが授業への参加と評価されるので、学生は進んで意見を言うことになる。

日本人学生は、間接教授に意見をあまり言わないが、それは、質問することで授業の秩序を乱すことを恐れ、迷惑になりたくないという、和を重んじる文化が影響している。又、周囲の目を気にして行動する恥の意識が強く、出る杭はうたれる社会であるので、目立ちたがらない意識が働くこ

表－6：授業中の教授への異議表明

単位：％

		日本大学生		米国大学生				日本大学生		米国大学生	
		男	女	男	女			男	女	男	女
その場で異議を表明する	その場で、肯定文で	12	4	16	8	相手の考えを否定する	8	0	4	8	
	その場で、疑問文で	8	8	64	52	自分の意見を言う	4	4	12	0	
						…ではないか、と質問する	8	4	12	4	
						根拠を聞く/要点を質問	0	4	8	8	
	自分の考えは正しいかどうか質問する	0	0	44	40						
講義が終わってから教授に話す		20	4	8	12	講義が終わってから教授に話す	16	0	8	12	
						ノートに書いておいて後で聞く	4	4	0	0	
異議を表明しない	その場で間接的アピールをする	4	0	0	4	facial expression+メモ	0	0	0	4	
						小さな声で一人ごとを言う	4	0	0	0	
	友達と相談する	20	32	0	0	その場で友だちと相談：私語	12	28	0	0	
						後で友人と話す	8	4	0	0	
	教授へのアピールなし	36	52	12	24	ノートに書き留めるだけ	4	8	0	8	
何もしない/聞き流す						32	44	12	16		
合計		100	100	100	100		100	100	100	100	

とも一因である。異議が授業中の私語に転じたのは、仲間と同じ意見かどうか確認する作業であり、仲間が同じ意見ならそれで安心する集団主義の現象ともいえる。そこでは、教授と意見が違っても、同じ意見の仲間がいれば安心しないのだ。一般的に米国の教育に比べて、特に中等教育の授業の形態が、意見を言う機会があまり与えられてきていないので、学生が授業

中意見を言うことに慣れていないことも、意見をあまり言わない一つの要因である。

### 2.3.5 友人への忠告

勉強嫌いな友人が急に医者になると言い出した、医者には向いていないこの友人に、なんと言いますかという設定（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」PartⅢ、18参照）で、特徴的相違は、米国の学生に多かったのは、疑問文で確認したり、根拠を尋ねる形であった（米国男子68%、米国女子48%、日本男子8%、日本女子12%）。

米国男子の例

- Are you sure? Why?
- What led you to come to that decision? Medicine is pretty hard!

米国女子の例

- Hmm. Are you sure about that? Is it worth it to you?
- Why do you want to be a doctor? Do you enjoy Biology?

一方、日本の学生に「頑張って」を含める者が多かった（日本男子44%、日本女子72%、米国男子0%、米国女子4%）。ここでの「頑張って」という表現は、相手にすりよるあいまいな表現となっている。

友人に忠告したいとき、卒直に言った方が人間関係にプラスか、言わないほうがプラスかで日米の学生の考えが違うようである。日本の学生は、相手の感情を害するのを避けようとするため、卒直に言わないほうが人間関係にプラスと判断しているようだ。米国の学生は、誠実さとか正直さを評価する文化の中で、偽りなく、正直に忠告することが、結局、友人関係にプラスと考えるようである。

米国人は、一人一人の個性を重んじて、いろんな意見をぶつけ合うことで、さらにいいものが生まれると考える。社会の基盤は主体的な個人であり、個人は集団に優先すると考える個人主義的な価値観がある。個人が主体的な個人であるために、自分の考えていることを正直に卒直に表現する

表-7：友人への忠告の表明

単位：%

		日本大学生		米国大学生				日本大学生		米国大学生	
		男	女	男	女			男	女	男	女
忠告する	肯定文で卒直に異議を表明する/無理と伝える	44	32	64	36	相手の考えを否定したり、無理だと言う	12	0	4	0	
						向いていない	0	4	0	0	
						困難さや勉強の必要性強調	20	28	52	28	
						もっとよく考えろ	12	0	12	8	
	疑問文で根拠を聞いたたり確認する	8	12	68	48	相手の根拠を聞く	0	8	20	20	
						本気かの確認	8	4	48	28	
	indirect hint	4	12	12	4	冗談で言う	4	12	0	0	
						自分はなれない・なりたくない	0	0	12	4	
	「応援」する表現を含めたり、相手の考えを肯定した上で忠告する	28	52	8	8	もし、それが自分がやりたいことなら	0	8	8	0	
						やるだけやってみたら	12	0	0	4	
						「頑張って」という表現を含めて	16	44	0	0	
						「awesome (すばらしい)」を含めて	0	0	0	4	
忠告しない	44	28	16	16	何もしない/聞き流す/反対しない	12	0	4	8		
					「すてき」等の賞賛	4	0	8	4		
					「頑張って」のみ	28	28	0	4		
					Good pay	0	0	4	0		

(回答のいくつかは複数の項目を含んでいたもので100%を超える)

ことに価値を置いている。

一方日本の学生の基盤にあるものは、集団主義であり、集団主義的な価値観が、はっきり言うことを慎ませている。Gudykunst & Ting-Toomey (1988) の言葉を引用すれば「この集団主義は、グループの和とグループを構成する個々の類似性（構成員が似たもの同志であることを）を重視する。グループの和と似たもの同志であることを尊重することにより、

disagreement の状況で対立を避けようとするために、卒直でないあいまいな表現を選ぶことになる。」

### 2.3.6 賞賛への反応

友人にセーターをほめられた状況（資料1「アンケート：コミュニケーション・スタイル」Part III、17参照）について得た回答データを、賞賛に対して率直に感謝する「AcceptanceやPositive Responses」と何らかの否定的感情が含まれる「DenialやNegativeな表現を含む Responses」に内容で分けて分類した（表-8参照）。日米大学生の顕著な反応の違いを上げると、（1）米国人学生の反応が“Thank you”等の感謝の言葉がほとんどであるのに対して、日本人の反応にはいろんなパターンが見られた。又、日米とも、男子より女子の方が感謝の言葉を言っている。（2）「DenialやNegativeな表現を含む Responses」は、日本人学生に圧倒的に多く、又、日米とも、女子より男子に多い。（3）お返しに相手を誉める傾向は、日米共、男子より、女子に多くみられる。（4）日本の学生は男女間で違いが大きい。

何故こうした違いが生じるのかを文化背景から探してみると、日本人に率直な感謝の言葉が出ないことが多いのは、謙遜を美德と考える文化が妨げているからである。

謙遜は、日本語の敬語表現の一角を担う謙讓表現と同質の文化である。一方を低メルことで他方に対する敬意を表す。この謙遜の文化は、謙遜を評価しない異文化とのコミュニケーションにおいては、誤解を生じることがある。問題になるのは、本心とは違って故意に自分を低メル際に謙遜に偽りが含まれる（“false modesty”）ことによる。また、儀礼上の賞賛（必要以上に一方を高メル）で偽り（“false compliment”）を含む場合も、異文化とのコミュニケーションにおいて問題を生じる可能性を含んでいる。日本人学生が、賞賛を受けて素直に感謝を言わないことがある理由は、謙遜文化による影響のためであるが、また、時には、儀礼上の偽りの賞賛



表-8 : Compliment Response Types

単位：%

区分	内訳	日本男子	日本女子	米国男子	米国女子
Acceptanceや Positive Responses	感謝	44	80	88	100
	同意や喜びの言葉	16	40	40	8
	相手をほめる	4	16	0	16
	説明（買った店のことなど）	12	4	32	20
	笑顔やジェスチャーで喜びを表す	0	0	24	36
Denialや Negativeな 表現を含む Responses	軽い疑問	36	44	8	4
	否定	16	0	0	0
	冗談ばい自慢	32	8	4	0
	照れる	0	12	0	0
	照れや謙遜の表現（「安物だ」など）	12	12	4	4
	「ゲイじゃない」等	0	0	8	0

注)

- (1) いろんな要素を組み合わせた回答があったので合計は100%を超える。
- (2) 「ゲイじゃない」は、「セーターを誉めるなんてゲイみたい」と考える男子学生の回答，“Whoa! There Johnny boy, don't be going gay on me now.”

(実質以上に高められている) にはいけないという警戒心のためでもあろう。自分を低めたり相手を高メル日本の敬語表現は、異文化間のコミュニケーションにおいては、受け取り側の文化を意識して使用する必要がある。

個性を尊重し、偽りのない正直さを尊ぶアメリカ文化にいる米国人学生は、自分の自由な選択で、気持ちよく身に付けている服装について謙遜する必要を感じない。自分が自分であることを低メル必要がないのだ。米国人にとって、“false modesty” は、不必要というより、大きなマイナスイ

メージであり、不信感と不快感をもたらす可能性があるだろう。日本人の謙遜が、しばしば、“false modesty”に相当していることがある点、注意が必要である。

賞賛への反応に関する低年齢への日米コミュニケーション・スタイル比較調査で、賞賛への反応が、日本人の場合、8, 9歳と中学生年齢とは違うことを検証した(1995)が、このことから、賞賛への反応の仕方に影響を与える謙遜文化が、年齢と共に獲得され、賞賛への反応を変えていくことが考えられる。謙遜は、幼児期には見られず、小学校低学年以降に習得される日本文化である。賞賛への反応は、言葉と文化の習得が相互に影響し合っってコミュニケーション・スタイルを変えていく一つの例となっている。

### 2.3.7 丁寧さの表し方の違い

丁寧さの表し方について、「アンケート：コミュニケーション・スタイル」Part III、13「教授にレポート提出の延期を依頼する」の回答を分析する。ここで与えられた状況は、レポート提出日に間に合いそうにないので、教授の研究室を訪れてレポート提出を来週まで待ってもらえないか頼もうとするところである。ここは、日本の学生も米国の学生も丁寧な話し方が求められる場面で、日米両方の全学生が標準以上の丁寧度(井出1986)の表現を使った。特に特徴的な話し方をあげる(表-9参照)。

- 1) 米国の学生の“Is there any way I could ...?”と相手にアドバイスを求めるスタイル。
- 2) 米国の学生の“I was wondering if it would be possible to ....”と卒直に自分の心境を語るスタイル。
- 3) 米国の学生は、“I've been extremely busy”など、なぜ間に合わないのか理由を具体的に言うスタイルが多かった。一方、日本の学生は、単に「間に合いそうにないので」と、言うにとどまり、その理由には言及しない学生がほとんどであった。

- 4) 日本人の学生の「・・・いただけないでしょうか」「・・・もらえませんか」など、否定を入れて依頼するスタイル。
- 5) 謝罪表現は、日本人女子>日本人男子>米国男女の順で日本人女子学生に多かった。

表-9：「教授にレポート提出の延期を依頼する」での特徴的なスタイル

単位：%

丁寧度を高めるストラテジー	日本男子	日本女子	米国男子	米国女子
1) アドバイスを求める	0	0	12	20
2) 自分の心境を告白する	0	0	8	16
3) 具体的理由を述べる	12	12	56	68
4) 否定疑問文で依頼する	68	76	0	0
5) 謝罪表現を使う	40	72	28	28

米国人の丁寧表現について、ブラウンとレビンソン (Brown and Levinson 1987) は、丁寧表現の原理 (Politeness Principle) で、ネガティブフェイス (自分の行動を他人に妨げられたくない欲求) とポジティブフェイス (自分が好まれる存在でありたいという欲求・・・対人関係において、同意され、理解され、承認され、好かれ、賞賛されたという欲求) を分析に使っている。彼等によると、人はフェイスを保ちたいと欲するがフェイスを脅かす言葉や出来事 (Face Threatening Acts) に出くわすものであるとした上で、相手のフェイスを配慮する表現として、相手のポジティブフェイスを満足させる表現 (ポジティブポライトネス) と相手のネガティブフェイスを配慮するときの表現 (ネガティブポライトネス) を上げている。

このブラウンとレビンソンの原理に沿って考えると、米国の学生の、「アドバイスを求める」「自分の心境を告白する」「具体的理由を述べる」は、教授のフェイスを配慮する方策としての丁寧表現と考えることができる。米国の学生にとって、教授のフェイスを守る配慮をした表現が丁寧表

現なのである。

日本人学生が教授に依頼するときは、内容を工夫して丁寧さを表わすというより、注意深く敬語の定型表現を使うことで丁寧さを表わしていた。米国の学生が、内容で丁寧さを表現するのに対して、日本の学生は、どちらかと言うと敬語の形を整えることで丁寧さを表現した。さらに、否定疑問文で依頼することで、より間接的な表現にし、謝罪表現を加えて、敬語表現をより強調させている。

日米では、丁寧さを表す考え方が違うので、日本語の敬語表現の感覚を英語にしようとするのが難しい作業となる。

### 2.3.8 日本人の謝罪

米国人学生が謝罪表現を使わない状況で、日本人学生は謝罪表現を使うケースが多くみられた。

依頼時における謝罪表現：

表－10：親に仕送りを依頼する状況（資料1、Part IV、20参照）

単位：%

謝罪表現	日本男子	日本女子	米国男子	米国女子
謝罪表現あり	16	44	0	8

表－11：友人にノートをコピーさせてもらいたい状況（資料1、Part I、6参照）

単位：%

謝罪表現	日本男子	日本女子	米国男子	米国女子
謝罪表現あり	24	28	0	0

表－10、11で示したように、依頼する状況で、日本の学生は、謝罪表現（「ごめん」「悪いけど」等）を入れる。依頼の場面での謝罪表現の多用は、調和を重んじるグループ志向の一つの定型ストラディジーとなっている。

調和を重んじる日本社会では、相手への気遣いから、その人の迷惑になり  
 そうな依頼には謝罪表現でなるだけ相手への精神的負担を軽減させようと  
 する。

感謝時における謝罪表現：

表-12：飛ばしてしまったプリントを拾ってもらったの感謝の状況

(資料 1、Part III、16参照)

単位：％

謝罪表現	日本男子	日本女子	米国男子	米国女子
謝罪表現あり	28	72	0	0

飛ばしてしまったプリントを拾ってもらったの感謝時に、日本人の謝罪  
 表現（「すいません」、「すみません」、「ごめん」、「ごめんなさい」）が目立っ  
 た。「すみません。ありがとうございます」と謝罪表現と感謝表現を組み  
 合わせる回答も目立った。

集団の中で調和を重んじる文化では、他の人からみて、目立った過失が  
 ないようにしようとする習性が強い。このケースでは、自分のちょっとした  
 過失のために、人にプリントを拾わせるという手を煩わせてしまった  
 ことに対して、即座に、すみませんという謝罪表現が出ている。この状況  
 では、「すみません」が感謝の表現になっている。

日米間のコミュニケーションで、日本的感覚で謝罪表現を多用すること  
 のないよう注意する必要がある。

### 3. 快・不快の日米コミュニケーション・スタイル比較

日米大学生のコミュニケーション・スタイル比較研究において日米大学  
 生のコミュニケーション・スタイルの違いを明らかにしたが、さらに調査  
 を進め、コミュニケーション・スタイルに日米で違いがある状況で、それ  
 ぞれがどのように感じているのかについて日米の大学生にアンケート調査

した。

### 3.1 研究の目的

異文化間コミュニケーションの際に特に問題になるのは、コミュニケーション・スタイルの違いが原因で相手に誤解を与えたり、自分が不快になったりしてコミュニケーションに支障が出る場合である。日米大学生間に違いがあるコミュニケーション・スタイルについて、快・不快の観点から相互にどのように感じているかを調査し、相手を不快にするコミュニケーション・スタイルを特定し、研究成果を英語によるコミュニケーション指導に役立たせたい。

### 3.2 研究の方法

日米間でコミュニケーション・スタイルが異なっていると想定できる10の具体的状況を設定し、これらの状況に接したときどう感じるのか26の設問を設け、アンケート調査（資料2「コミュニケーション・スタイル調査－快不快の度合い」）した。回答は、1（快・好感もてる）から5（不快）まで、5つの基準で答えてもらった。アンケート用紙は、内容が同じものを日本語版と英語版で作成し、日本人学生には日本語版を、米国人学生には英語版を使った。アンケート調査は、日本側は、白鷗大学の学生、米国側は、アマースト大学とウエルズリー大学の学生に実施した。被験者の条件を①26歳以下の大学生、②日本の学生においては、日本語を母国語とし、生活の大半を日本で暮らしてきた学生、米国の学生においては英語を母国語とし、生活の大半を米国で暮らしてきた学生として、日米男女それぞれ25人の有効データを得た。

### 3.3 結果と考察

10の状況に対して得た回答のデータ分析から、特徴的な項目を取り上げて論じる。

### 3.3.1 ファーストネーム

米国には、対等で親しみやすい人間関係を理想とするファーストネーム文化ともいうべきものがある。本調査においては、友人同士で朝の挨拶時に呼び合うとき、ファーストネームで呼ばれるのと、ファミリーネームで呼ばれるのとでは、快・不快の観点からどうであろうかを日米の学生について調べた（資料2「コミュニケーション・スタイル調査—快不快の度合い」2、3参照）。総じて言えば、米国の学生は、名前で呼ばれることを「快」（好感が持てる）とする傾向である一方、日本の学生は、「どちらかといえば快」の傾向で、米国の学生は日本人の学生より名前で呼ばれることの好感度が高かった。

米国人には、ファーストネームで呼び合えることを、親しみのある平等の関係を具現する人間関係とする考えがあるので、ファーストネームで呼ばれることは「快」であるのに対し、日本人には、縦型の視点から人間関係をとらえる文化の土壌の中で、上下関係からみた自分の立場、相手と親密さや距離感などを配慮して相手の名前を呼ぶことが求められるので、大学生同士でも誰にファーストネームで呼ばれるかで快・不快が大きく異なる複雑さを含んでいる。

### 3.3.2 ウチ言語

日本語では、フォーマルな敬語表現と仲間内で使うウチ言語との差が大きい。米国文化では、平等を道徳的理想に掲げる観点から、相手によってあまり態度を変えず、誰にも同じような丁寧度で話すことが好ましいと考えられている。本調査においては、親に臨時の送金をお願いしている友人の話し方を、快・不快の観点からどのように感じるかを答えてもらった（資料2「コミュニケーション・スタイル調査—快不快の度合い」22、23参照）。まず、標準的丁寧度の依頼表現とされる、英語の「Can you・・・」、日本語の「・・・ください」よりくだけた表現で依頼しているのを聞いてどう思うかに対しては、日本人の学生は、5段階（1「快」～5「不快」）

で平均2.5（「どちらかと言えば快」側）であったが、米国の学生は平均3.4（「どちらかと言えば不快」側）であった。

さらに、「ノートをコピーしてもらおうと友人に依頼された」（資料2「コミュニケーション・スタイル調査—快・不快の度合い」4、5参照）ケースで、くだけた表現（ウチ言語）で依頼された場合と丁寧な表現で依頼された場合の快・不快を調べた調査では、米国人学生は、くだけたウチ言語で依頼された場合は、平均3.7（「どちらかといえば不快」）であり、フォーマルな丁寧表現で依頼された場合には、平均1.8（「快」）であった。日本人学生は、くだけたウチ言語で依頼された場合と、フォーマルな丁寧表現で依頼された場合に、快・不快の度合いにほとんど差がなかった。

本調査は、米国人学生に日本的な感覚でくだけた表現で依頼すると、相手を不快にさせる可能性があることを示している。英語では、相手が誰であろうと、依頼するときは丁寧な表現を心がける必要があると言える。

### 3.3.3 年齢の上下関係

相手が年上か年下かで日本の学生は話し方を変えるが、米国の学生はほとんど変えない。日本人学生は年下にくだけた表現（ある意味で横柄な言い方）を使うが、米国の学生は、そのような状況を目にしたとき、快・不快の観点から、どのように感じるであろうか、大学のテニスクラブの先輩と後輩の会話を想定した調査（資料2「コミュニケーション・スタイル調査—快・不快の度合い」19、20、21参照）から検証してみた。テニスの部室が暑いので、窓の近くにいた1年生に窓を開けてもらおうと上級生が言った「窓開けて」のくだけた表現に対して、米国人学生の回答は5段階で、男子4.3、女子4.4と不快感を示し、日本人学生は、男子2.6、女子3.0と不快感を全く感じていない。同状況で丁寧に依頼するケースに対しては、米国人学生の回答は、男子2.0、女子1.6であった。日本人学生は、男子2.2、女子2.3で、米国人学生のほうが、快（好感が持てる）側に強く傾いていた。



親しみやすい対等な関係を好ましいと考える米国人学生は、相手によって話し方を変える日本人の態度に、不快感を覚える可能性があるといえる。

### 3.3.4 異議の表し方

日本人学生は、例えば、教授に異議があっても、意見を言わないことが多いが、米国人学生は、その場で意見を言うことが多い。そこで、異議がありながら意見を言わない学生を、快・不快の観点からどう思うか、またその場で率直に意見を言う学生を、どう思うかを日米の学生に調査した(資料2「コミュニケーション・スタイル調査—快・不快の度合い」16、17、18参照)。

調査結果は、異議がありながら、何も言わずノートをとり続ける学生に対して、日米の学生共、5段階で平均2.9、で、「何も感じない」であった。異議があって、隣の学生にひそひそ話しかける学生に対しても、日米の両学生共、平均約3.0(「何も感じない」)であった。直ちに挙手して、自分の考えが正しいかどうか教授に聞いた学生をどう思うかに対しては、日本人学生が約2.2、米国人学生が約2.4で、両方とも「どちらかといえば快」の傾向で、多少、米国人学生の方が好感度が高いという結果であった。意見を言うか言わないかでは、双方の学生共、快不快の観点からは、あまり違いがないようであった。

さらに、アパートの隣人がうるさいので苦情をいう状況設定(資料2「コミュニケーション・スタイル調査—快・不快の度合い」10、11、12参照)で、自分で直接苦情を言う代わりに管理人に注意してもらう人をどう思うかに対しては、日本人学生の平均3.6、米国人学生の平均4.3であった。両方とも、不快感を感じる方に傾いているが、米国人学生の不快感のほうが大きい数字を示した。その場で、強い口調で抗議する人に対しては、日米とも女子が強い不快感を示していた。

日本人学生は、異議があるとき、自分は言わない傾向があるが、その場で意見を言う人に対しては、好感を持っている。アパートの管理人に注意

してもらおうような仲介役を通して異議や苦情を伝えるコミュニケーション・スタイルは、日本人以上に米国人学生に強い不快感を与える傾向があるので注意が必要である。

### 3.3.5 友人への忠告

「友人が医者になりたいと言い出したが、彼は医者には向いていない」という状況設定において、日本人学生は相手の機嫌を損ねないように「頑張って」とあいまいな表現を使うケースが多いことを日米大学生のコミュニケーション・スタイル比較の調査で明らかにしたが、こうした日本人のあいまいなコミュニケーション・スタイルを米国人学生は、快・不快の観点からどう思うかを問う設問（資料2「コミュニケーション・スタイル調査一快・不快の度合い」8、9参照）で、米国人学生が、不快感を示す結果は出なかった。又、米国人に多い率直に忠告するスタイルに対して、日本人学生が不快感を感じることもないことを調査結果は示した。このケースでは、日米大学生のコミュニケーション・スタイルに違いはあったが、違いが不快感を生むことはなさそうである。

### 3.3.6 賞賛への反応

日本人学生の中には、ほめられたとき、謙遜から、聞き返したり、否定したりする学生が多い。米国の学生は、そのような反応をどのように感じるのかを調べた。

就職の面接試験に行こうとしている学生が教授に「スマートに決まってるよ。就職試験の面接があるんだね。」とスーツをほめられた状況（資料2「コミュニケーション・スタイル調査一快・不快の度合い」24、25、26、27参照）で、「僕にはスーツはまだ似合いませんよ」とほめられたことを否定するスタイルに対して、日本人学生が、男子2.5、女子2.8と「快」側に回答しているのに対し、米国人学生は、男女とも3.5で「不快」側に振れた。「本当ですか？慣れない格好なので変じゃないですか？」と疑問文

で問い返すスタイルには、日本人学生は、男子2.3、女子2.2で好感度が高いのに対し、米国人学生は、男子3.0、女子2.7と、ほぼ何も感じない領域にある。話題をそらしてしまうケースに対しては、日米の学生にあまり違いがなかった。率直に「ありがとうございます」と感謝するスタイルは、日米の学生共、好感を持っていた。

賞賛への反応では、人を不快にさせる2つの要素がある。日米両国において、boastful（自慢げ、鼻高だか）やbrag（自慢、ほら吹き）は、軽蔑的ニュアンスを持つ。だから、ほめられた時、自慢げな反応は、日米ともに不快感を生じさせる。もう一つの要素は、ほめられた時の反応に偽りがないかどうかである。ここのとらえ方が、日米で異なっている。受けた賞賛に対して、本心とは違って（偽りを含んで）軽く否定することは、謙遜文化のある日本人に好感を抱かせる傾向があるが、米国人を不愉快にさせる傾向を調査の回答は示していた。

#### 4. まとめ

日米の大学生にどのようなコミュニケーション・スタイルの相違があるのか、その相違はどのような文化背景から生まれているものなのか、又、その相違は、相手を不快にするものなのか、好感を与えるものなのかについて、2種類の調査から得たデータを分析することを通して下記の点を論じた。

米国人学生がファースト・ネームで呼び合うことは、親しみのある平等の関係を理想とする具現化なのである。米国人にとって、平等の思想は道徳的基礎であり、基本的人権の根底になっている。社会的地位が明らかにならないようなやり方が好まれ、上下をはっきりさせるるのは失礼とみなされる。年齢や社会的階層に関わりなく対等な人間としてお互いに口をきくことをよとする。だから、米国の学生に日本の学生が持つ先輩・後輩の概念はない。日米間のコミュニケーションにおいては、相手によって話し方を変える日本的なやり方は、米国人に不快感を与える可能性があるこ

とを心しておくべきだろう。

日本人学生に特徴的なことの一つに仲間内で話すウチ言語文化がある。「親に臨時の送金をお願いしたい」で、親への依頼文の丁寧度を分析した結果、親に対して、日本人の学生は、くだけた文で依頼し、米国の学生は丁寧な表現を使っていた。日本語では、相手が、例えば家族の一員であったり、同等な関係にある打ち解けた仲間であれば、ウチ言語がふさわしくなる。このウチ言語とフォーマルな言語の差が、日本語の場合極端に大きい。日本語のような明確なウチ言語文化のない米国人学生に日本的な感覚でくだけた表現で依頼すると、相手を不快にさせる可能性が大であるといえる。

異議や苦情の表わし方では、授業中に教授に異議がある場合に、その場で異議を表わすのは米国の学生に多く、教授に異議を表明しない学生は日本の学生に多かった。さらに、アパートでうるさい隣人への苦情を伝える状況設定では、管理人に訴えた人をどう思うかに対しては、米国人学生の不快感のほう大きい数字を示していた。総じて日本人学生は、自分で異議や苦情を言うのを躊躇しがちである。仲介役を通して異議や苦情を伝えるようなコミュニケーションのやり方は、米国人学生に強い不快感を与えるので注意が必要である。

友人への忠告の仕方では、友人に忠告したいとき、日本の学生は卒直に言わないほうが人間関係にプラスと判断しているようだ。日本の学生の基盤にあるものは、集団主義であり、集団主義的な価値観が、はっきり言うことを慎ませている。米国の学生は、自分の考えていることを正直に正確に卒直に表現することが友人関係にプラスと考えるようだ。

賞賛への反応においては、ほとんどの米国人学生が賞賛に対して感謝するのにに対して、日本人の反応にはいろんなパターンが見られた。日本人に率直な感謝の言葉が出ないのは、謙遜を美德と考える文化が妨げているからである。謙遜の文化は、人間関係をタテ軸でとらえ、自分を低めることで人格を評価される文化である。異文化間のコミュニケーションにおいて、

謙遜が問題になるのは、謙遜に偽りが含まれる (“false modesty”) 場合である。受けた賞賛に対して、本心とは違って軽く否定することは、日本人に好感を与えるが、米国人を不愉快にさせる傾向を調査の回答は示していた。異文化間のコミュニケーションにおいては、謙遜をどう判断されるか、受け取り側の文化を意識する必要がある。

丁寧さの表し方では、例えば、教授に依頼するとき、日本人学生は、適切な敬語表現を使い、さらに、否定疑問文や謝罪表現を使って敬語表現をより強調させていた。米国人学生は、教授にアドバイスを求めたり、具体的な理由を説明することで丁寧さを表わしていた。英語での丁寧さは、相手のフェイスを配慮することで達成される。好感の持てる丁寧さを表わすために、ネガティブフェイス（自分の行動を他人に妨げられたくない欲求）とポジティブフェイス（自分が好まれる存在でありたいという欲求）を配慮した内容を言い表そうとする。

ジェンダーの観点でも日米に差があった。米国人学生の場合、調査の回答を一読して男女の違いを識別することが困難なことが多かったが、日本人学生の回答の多くは、一読して男女が識別できた。日本人学生は、米国人学生に比べて、より明確に男女で違った表現を使い、違ったコミュニケーション・スタイルを持っているということだろう。

コミュニケーション・スタイルは、国別文化の枠組みのほかに、性別文化、年齢層文化など、複数の文化が絡み合って形成されている。これらの文化の枠組みは、一定の価値観や原則によって影響されているので、コミュニケーション・スタイルも一定の法則性を、文化背景を調べることで導き出すことが可能である。しかし、これらの法則性は、傾向を示すにすぎないものであるので、一般化して言い切ることは、ステレオタイプを助長する危険性もある。コミュニケーション・スタイルの傾向が浮かび上がればそれでよしとしたい。

この研究を進めるにあたり次の3名の研究者にご協力いただいた。心か

滝 沢 謙 三

ら感謝の意を表します。

海外共同研究者

多和わ子先生 (米国アマースト大学教授)

前野好美先生 (米国ウエルズリー大学助教授)

研究分担者

滝沢カレン (清泉女学院短期大学教授)

日米コミュニケーション・スタイル比較研究には、米国側からのデータが不可欠であったが、米国で日本語教育に携わっている多和先生と前野先生の協力で、データを入手できた。アマースト大学は、同志社大学設立者の新島譲が1870 (明治3) 年に卒業した大学で、日本とのゆかりも深く、リベラルアートの大学としては全米でトップ校にランクされる。ウエルズリー大学も、全米屈指の名門女子大である。日本での英語教育と、米国における日本語教育は、共通する面が大きい。特に、言語の背景にある文化や、文化によって影響されているコミュニケーション・スタイルに関する面は、語学教育者として、同じ課題を抱えている。この研究を通して、これらの米国東海岸の名門私立大学を訪れる機会を得たことは非常に幸運であった。遠い異国の地で、日本語教育に専念され、長期的な展望で日米間の交流におけるコミュニケーションに貢献されようとしている多和先生・前野先生のますますのご活躍をお祈りしたい。

## 引用・参考文献

- 松本青也 (1994) 『日米文化の特質』 研究社出版  
津田早苗 (1994) 『談話分析とコミュニケーション』 リーベル出版  
加藤恭子 (1993) 『言葉で探るアメリカ』 ちくま文庫  
田崎清忠 (1993) 『ファーストネームで呼び合おう』 研究社  
安藤貞雄 (1993) 『英語の理論・日本語の理論』 大修館書店  
西田ひろ子 (1991) 『実例で見る日米コミュニケーション・ギャップ』 大修館書店  
示村陽一 (1992) 『アメリカの社会』 英潮社  
井出祥子 (1986) 『日本人とアメリカ人の敬語行動』 南雲堂  
山根千枝 (1967) 『タテ社会の人間関係』 講談社  
滝沢謙三 (2001) 「日米大学生のコミュニケーション・スタイル：依頼」『中部地区

- 英語教育学会紀要』30号 pp. 349-356.
- 滝沢謙三 (2000) 「日米大学生のコミュニケーション・スタイル：異議あり」『中部地区英語教育学会紀要』29号 pp. 221-228.
- 滝沢謙三 (1999) 「日米大学生のコミュニケーション・スタイル：先輩・後輩」『長岡工業高等専門学校研究紀要』第35巻第1号 pp. 15-25.
- Takizawa, Karen A. (1999) “A Comparative Study of Speech Acts of Japanese and American College Students (4): Classroom Interaction,” 『清泉女学院短期大学紀要』第18号 pp. 99-114.
- Takizawa, Karen A. (1997) “A Comparative Study of Speech Acts of Japanese and American College Students (1): Greetings and Requests,” 『清泉女学院短期大学紀要』第14号 pp. 73-91.
- Takizawa, Kenzo (1996) “A COMPARATIVE STUDY OF SPEECH ACTS OF JAPANESE AND AMERICAN STUDENTS: AGES 8-17,” *Doshisha Literature, No. 39*. English Literary Society of Doshisha University, Kyoto. pp. 101-122.
- Brown, Penelope and Levinson, Stephen C. (1987) *Politeness*. Cambridge University Press.
- Benedict, Ruth (1946) *The Chrysanthemum and the Sword - Patterns of Japanese Culture*, HOUGHTON MIFFLIN COMPANY, Boston.
- Whorf, Benjamin L. (1941) “LANGUAGE, MIND, AND REALITY,” *Language Thought and Reality*, edited by John B. Carroll, THE MIT PRESS, Cambridge, Massachusetts.

資料1 「アンケート：コミュニケーション・スタイル」(日本語)

アンケート：コミュニケーション スタイル

このアンケートは、日本の大学生とアメリカの大学生との話し方を比較研究するためのものです。あなたは次の状況下にいる大学生と想定してください。ある日に次の20の状況で、友人と言葉を使います。それぞれの状況を読んで、あなたはと言うか、ふだんの言葉使いで言うように書いて下さい。言葉を使わずにジェスチャーや顔の表情等で意志を伝える場合は( )をつけて書いてください。

Part I カフェテリア

- 1) 正午ごろカフェテリア近くで友人の中村恵子さんを見かけました。その日彼女に会うのは初めてです。どんな挨拶をしますか。
- 2) あなたはカフェテリアでお昼を食べようと思います。恵子さんに一緒にカフェテリアへ行こうと誘ってください。
- 3) カフェテリアは混んでいて2つ空いている座席がありません。しかし、座席に置いてあるバックをどけてもらおうと二人分の座席が確保できることがあります。そこで、バックをどけてもらおうと思います。相手は知らない女子学生ですが、どのように頼みますか。
- 4) 食事を始めましたが、塩が欲しくなりました。あなたの手の届くところに塩はありません。同じテニス部の1年生の前に塩があります。この後輩の名前は山田太郎と言いますが、彼に何と言って塩を取ってもらいますか。(あなたは大学2年生、テニス部員と想定してください。)



- 5) 山田君に取ってもらった塩は空でした。しかし、もう一つ塩の容器が、テニス部キャプテンの4年生の近くにあります。この先輩の名前は中村健一と言います。彼に何と言って塩を取ってもらいますか。(あなたは大学2年生、テニス部員です。)
  
- 6) 実は明日、生物学のテストがあります。あなたは先週欠席してしまったので、中村恵子さんのノートのコピーさせてもらいたいと思います。どのように頼みますか。
  
- 7) 食事の後で二人で近くのコピー機まで行き、中村恵子さんのノートをコピーしました。何と言ってノートを返しますか。
  
- 8) あなたはまもなく心理学の講義が始まります。あなたも中村恵子さんも明日の生物学のテストが気になっています。どんな別れの挨拶をしますか。

Part II 心理学の講義

- 9) 心理学の授業が始まろうとした時、あなたはペンか鉛筆を持ってくるのを忘れたのに気づきました。隣に友人の小林浩一君が座っています。彼に何か書くものを借りて下さい。
  
- 10) あなたは約30人の学生と黒沢教授の心理学の講義を受け、ノートを取っています。ある点で教授が「△△△」と言いましたが、あなたは全くそう思いません。「□□□」(違った意見)だと思います。あなたは何と言いますか、又はどうしますか。
  
- 11) 授業が終わる5分前に、黒沢教授は「何か質問かコメントがありますか」と聞きました。あなたは、こ

の講座のレポートを書いています、教授に課題に関する参考文献等を紹介して欲しいと思っています。あなたは何と言いますか、又はどうしますか。

- 1 2) 講義が終わって教室を出る時、友人の小林浩一君が「(石黒教授の) 講義がおそまつ、(受講は) 時間の無駄だ」と言いました。あなたは、教授と意見が違いましたが、小林君のようにには全く思いません。小林君にどう言いますか、又はどうしますか。
- 1 3) 実は、黒沢教授のレポート提出日が今週の金曜日ですが、確実に間に合いそうにありません。黒沢教授の研究室を訪れてレポート提出を来週月曜日まで待ってもらえないか頼もうと思います。教授の研究室で何と言いますか。

Part III キャンパス中庭で

- 1 4) 黒沢教授と話した後、キャンパスの中庭を歩いていると、あなたが知らない二人の男子学生がフリスビーをしていました。近くを通った時、フリスビーを追いかけた学生があなたに衝突しそうになりました。あなたは彼を避けようとして、芝生に座っていた知らない男子学生にぶつかってしまいました。ぶつかった学生に何と言いますか。
- 1 5) あなたはフリスビーをしている二人の学生に怒りを覚えます。彼等に何と言いますか、又はどうしますか。
- 1 6) 突然風が吹き始め、あなたが持っていたプリントを何枚か飛ばしてしまいました。その時、知らない女子学生が拾い集めるのを手伝ってくれました。彼女に何と言いますか。

17) 友人の山本健一君に会い、数分立ち話をしました。彼は、その日あなたが着ていたセーターがすてきだと言いました。あなたは何と言いますか。又はどうしますか。

18) 山本健一君が医者になる準備に取り掛かろうとしていると言います。彼は本気で考えているようです。彼は、あまり勉強する学生ではなく、卒直な所、いずれにしても彼は医者には向いていません。彼に何と言いますか。又はどうしますか。

19) 山本健一君が、今晚、あなたも知っている人達がキャンパス近くの学生に評判のレストランに集まるから、あなたも加わらないかと誘いました。あなたはあまりお金もないし、明日生物学のテストもあるので、行かないでおこうと思います。彼に何と言いますか。又はどうしますか。

Part IV その夜

20) あなたの両親は毎月定額の仕送りをしています。今月はお金が必要です。それで、電話で父、又は母に1万円の臨時仕送りをお願いしようと思います。あなたは何と言いますか。(あなたは親元から離れて生活していると想定して下さい。)

< ご協力ありがとうございました。 >

アンケート実施日：平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 性別：男・女 年齢：\_\_\_\_歳  
国外での生活経験：あり・なし (「あり」の場合\_\_\_\_年、国名\_\_\_\_)

資料 1 「アンケート：コミュニケーション・スタイル」(英文)

Cross-Cultural Survey of Communication Styles

We are making a survey of the communication styles of students in the United States and Japan. Please imagine that you meet people on campus in the following twenty situations during the course of one day. Please read each of the situations and write down what you would say or do in the spaces provided. Please put any nonverbal behavior, such as laughter, gestures, or facial expressions, in parentheses ( )

Part I The Cafeteria

1) Around noon, you see your friend Anne Green near the cafeteria. It is the first time you have seen her that day. How would you greet her?

.....  
.....

2) You are planning to go into the cafeteria to eat lunch. Ask Anne if she would like to join you.

.....  
.....

3) The cafeteria is crowded, and you cannot find two seats together. You see a place where someone has placed a bag on an empty seat. If the bag is moved, you and Anne can both sit down. The bag belongs to a female student you do not know. How would you ask her to move her bag?

.....  
.....

4) You decide that you want a little salt on your French fries. You notice a salt shaker near Bob Long, a first year student who is also a member of the tennis team. How would you ask him to pass you the salt? (Please imagine that you are a second year student and a member of the tennis team.)

.....  
.....

5) Unfortunately, the salt shaker near Bob Long is empty, but there is another one near Allen West, a fourth year student who is the captain of the tennis team. How would you ask him to pass you the salt? ( Please imagine that you are a second year student and a member of the tennis team )

.....  
.....

6) There will be a test tomorrow in the biology class both you and Anne Green are taking. You were absent from class last week, so you would like to make a copy of Anne's notes. How would you ask her?

.....  
.....

7) After you finish eating, the two of you go to the nearest copy machine, where you copy Anne's notes. What would you say to her when you hand the notebook back to her?

.....  
.....

8) It's almost time for your psychology class. Both of you are concerned about the biology test tomorrow. What would you say to Anne when you leave to go to class?

.....  
.....

**Part II The Psychology Class**

9) Just as the psychology class is about to begin, you realize that you have forgotten to bring a pen or pencil. Sitting next to you is your friend, Tom Smith. Ask him if you can borrow something to write with.

.....  
.....

10) You and 30 other students are listening carefully to Dr. Carr's lecture on psychology and taking a lot of notes. At one point he says "△△△", but you strongly disagree with this because you think "□□□". What would you say or do?

.....  
.....  
11) About five minutes before the end of the class, Dr. Carr asks the students if they have any questions or comments. You would like some suggested references on this topic for the report you are writing for this class. What would you say or do?

.....  
.....  
12) As you are leaving the class, Tom Smith says that he thinks Dr Carr's lecture was poor and that the class was a waste of time. Even though you disagreed with what Dr. Carr said, you do not agree at all with Tom Smith's opinion. What would you say or do?

.....  
.....  
13) The report for Dr. Carr's class is due this coming Friday, but you are sure that you will not be able to finish it in time. Later that day, you go to Dr. Carr's office to ask him if you could turn the report in the following Monday. What would you say?

.....  
.....  
**Part III In the Central Courtyard**

14) After talking to Dr. Carr, you walk through the large courtyard in the middle of the campus. Two male students that you do not know are playing catch with a Frisbee. As you are walking by, you are almost hit by one of them, who is trying to catch the Frisbee. In order to avoid being hit, you move aside, but in doing so, you accidentally bump into a male student you do not know who is sitting on the grass. What would you say to the student you bump into?

.....  
.....  
15) You feel rather annoyed with the two students who are playing with the Frisbee. What would you say or do?

.....  
.....  
16) Suddenly the wind begins to blow and some papers that you are carrying are scattered. A female student you do not know helps you catch them. What would you say to her?

.....  
.....  
17) You see your friend, John Edwards, so you stop to talk to him for a few minutes. He says that he really likes the sweater you are wearing that day. What would you say or do?

.....  
.....  
18) He tells you that he is thinking about changing his major to biology because he wants to be a doctor. You know that he is not a serious student, and you do not think that medicine would really suit him in any way. What would you say or do?

.....  
.....  
19) He tells you that a group of students that you know will be meeting for dinner that night at a popular restaurant near the campus, and he asks you if you would like to join them. You remember that you do not have much money and that you will be having a biology test tomorrow, so you decide not to go to the restaurant. What would you say or do?

.....  
.....  
**Part IV That Evening**

20) Your parents give you a monthly allowance. This month you really need more money, so that evening over the phone, you ask either your mother or father to send you an additional \$100. What would you say? (Please imagine that you are living away from home.)

.....  
.....

Date: \_\_\_\_\_ Sex: Male \_\_\_\_\_ Female \_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_  
Have you ever lived abroad? Yes \_\_\_\_\_ No \_\_\_\_\_  
(If 'yes' How long? \_\_\_\_\_ What country? \_\_\_\_\_)

Thank you for your cooperation.



資料2 「コミュニケーション・スタイル調査一快・不快の度合い」

(日本文)

コミュニケーション・スタイル調査

次のコミュニケーション・スタイル調査は、コミュニケーションのいろんな状況での快・不快の度合いを調べるものです。次の状況を注意深く読んで、実際にその状況に置かれたと想像し、自分ならどう感じるかを回答してください。下記の基準で1~5にマーク（○印を記入）してください。

1 快 (好感が持てる)	2 どちらかと言えば快	3 何も感じない	4 どちらかと言えば不快	5 不快
--------------	-------------	----------	--------------	------

1. 挨拶

状況：朝、あなたは、図書館に行く途中、反対方向からきた3人の友人A,B,Cと行き合いました。彼等は下記のような挨拶をしました。(彼等は、あなたがよく顔を合わせる友達で、その朝はお互い、特に多忙な時でなかったと想像してください。)

		1	2	3	4	5
1	Aは、「おはよう」					
2	Bは、「おはよう。〈あなたの名前(first name)〉、調子どう？」					
3	Cは、「おはよう。〈あなたの名字(family name)〉、調子どう？」					

この状況で何かコメントがあったらお書き下さい。

--

2. 依頼 (1)

状況：明日、生物学のテストがあります。先週欠席した友人A,Bがあなたのノートをコピーさせてもらいたいと頼みました。

		1	2	3	4	5
4	Aは、くだけた表現で「ねえ、生物のノート、コピーさせて」といった表現で頼みました。					
5	Bは、丁寧な表現で「先週休んでしまったので、先週のノートコピーさせてもらえませんか」といった表現をしました。					

コメント

--

3. 依頼 (2)

状況：カフェテリアであなたは、友人の座席を確保しようとして、空いている横の席にあなたのバッグを置きました。あなたが知らない学生が座席のことで次のように話しかけてきました。

		1	2	3	4	5
6	Aは、親しげに、そして直接的に、「バッグどけていただけませんか、座りたいんで」と言いました。					
7	Bは、神妙そうに、そして遠回しに、「すみません、この席空いていますか」と言いました。					

コメント

4. 忠告

状況：あなたのルームメートは、最近、人気テレビ番組の影響で医者になることを目指そうと思うようになりました。あなたは、そのルームメートが二人の友人（A、B）とそのことについて話しているのを耳にしました。（あなたも、その友人A、Bも、あなたのルームメートが勉強嫌いで、実際に医者に向いていないことが分っていると想定してください。）

		1	2	3	4	5
8	Aは、ルームメートの気持ちを傷つけないように、「すごい、がんばって」と言っています。					
9	Bは、ルームメートがなぜ医者になりたいのか理由を尋ね、それから率直にBが考えていることを言っています。					

コメント

5. 苦情

状況：今、真夜中で、あなたは、自分のアパートでパーティーを開いています。隣人（学生A、B、C）が、騒がしい音楽に迷惑がっているようです。（あなたは、このアパートに引っ越して来てから、まだあまり日がたっていない、また、すでに数回騒がしいパーティーを開いていると想定してください。）

		1	2	3	4	5
10	Aは、あなたに何も言わず、次の日、管理人に何とかしてもらえるようにたのみました。					
11	Bは、あなたの部屋をノックし、「この時間ですから、かなり聞こえてくるんです」と穏やかに言いました。					
12	Cは、あなたの部屋をノックし、「うるさくて眠れない、ボリュームを下げて」と強い口調で言いました。					

コメント

6. 謝罪 「足をふんでしまっ」

状況：キャンパスの芝生で座って本を読んでいます。近くで、何人かの学生がフリスビーをしています。学生（A、B）が、もののはずみで、あなたの足をふみましました。

		1	2	3	4	5
23	Aは、きまり悪そうに笑みを浮かべて「すみません」といいました。					
24	Bは、真剣な顔で「すみません。だいじょうぶですか」といいました。					

コメント：

7. 異議あり

状況：あなたは約30人の学生と心理学の講義を受け、ノートを取っています。あなたの周りに座っている女子学生（A, B, C）が教授が言ったことに対して、何か異議があるようです。

		1	2	3	4	5
16	Aさんは、教授に賛同できないといった表情をして、何も言わずノートを取り続けました。					
17	Bさんは、ひそひそと隣の学生に話しています。「私は、□□□だと思うけど・・・」と言っています。					
18	Cさんは、直ちに挙手し、「私は□□□と思いますが、この考えもあり得ますか」と教授に聞きました。					

コメント

8. 依頼 (3) 「後輩に」

状況：テニス部の3年生（A, B, C君）は、部室が暑いので、窓の近くにいる1年生に窓を開けてもらおうと思っています。

		1	2	3	4	5
19	A君は、「窓開けて」と言いました。					
20	B君は、もう一人の学生を見て、「窓開けてください」と言いました。					
21	C君は、手のひらで扇いで、「ここは暑いね」と言いました。					

コメント：

9. 依頼 (4) 「親に臨時の送金をお願いしたい」

状況：友人の女子学生（A, Bさん）は、両親から毎月定額の仕送りを受けています。今月は特別なお金が必要なので、電話で両親に3万円の臨時仕送りをお願いしているところを耳にしました。

		1	2	3	4	5

22	Aさんは、「お母さん、ごめん、お金たりなくなっちゃった。ちょっと余分に送って、.なので(理由)3万円ばかり」と言ってます。						
23	Bさんは、「お母さん、今月余分にお金送っていただけないでしょうか。..なので(理由)3万円ほど必要なんです」といった表現を使っています。						

コメント.

--

10. 賞賛への反応 「スーツをほめられて」

状況：その日の午後は、就職面接がある日なので、A、B、C、D君が、朝、スーツで登校しました。彼等の敬務が、スーツ姿の学生に、「スマートに決まってるよ。就職試験の面接があるんだね。」と言いました。(学生は、それぞれ自分でもスーツ姿が気に入っているものとして答えてください。)

		1	2	3	4	5
24	A君は、謙遜から、首を横に振り「僕にはまだ似合いませんよ」と言いました。					
25	B君は、「本当ですか?慣れない格好なので変じゃないですか?」と言いました。					
26	C君は、ちょっと恥ずかしそうに、服装から話題をそらせて、「(就職試験の面接)頑張ってきます」と言いました。					
27	D君はうれしそうに、「ありがとうございます」と言いました。					

この状況で何かコメントがあったらお書き下さい。

--

アンケート回答者について

アンケート実施日・平成__年__月__日	性別：男・女	年齢__歳	国籍__
日本以外での生活経験：あり・なし (「あり」の場合__年、国名__)			

アンケートへのご協力ありがとうございました。

資料2 「コミュニケーション・スタイル調査—快・不快の度合い」 (英文)

**Survey on Communication Styles**

The purpose of this study is to measure the degree of pleasantness or unpleasantness you feel in a variety of communicative situations. Read the following situations carefully and think about how you would feel. Put a mark (✓) in the appropriate box.

1 Pleasant    2 Somewhat pleasant    3 Neutral  
Unpleasant    4 Somewhat unpleasant    5

**1. Greetings**

Situation: In the morning on your way to the library, you pass three friends (A, B, and C) going the other way. They greet you. (Imagine that you know the three students equally well and see them often and that none of you are especially busy.)

		1	2	3	4	5
1	A says, "Hi."					
2	B says, "Hi, (your first name). How's it going?"					
3	C says, "Hi, (your last name). How's it going?"					

Comments:

**2. Requests (1)**

Situation: There will be a test tomorrow in your biology class. Your friends (A and B) were absent from class last week, so they would like to make a copy of your notes.

		1	2	3	4	5
4	A says casually, "Hey, let me copy your bio notes."					
5	B says politely, "I missed the class last week. Would you mind if I copied your notes?"					

Comments:

**3. Requests (2)**

Situation: In the cafeteria, you put your bag on the empty seat next to you to save it for a friend. Two students you do not know (A and B) speak to you about the seat.

		1	2	3	4	5
6	A says in a friendly and direct way, "Would you mind moving your bag so we can sit here?"					
7	B says in a serious and roundabout way, "Excuse me? Is anyone					

sitting here?"

Comment:

--

**4. Advice**

Situation: Your roommate, influenced by a popular TV program, has recently been thinking about changing to the pre-med course at your university. You hear your roommate talking to two friends (A and B) about it. (Imagine that you and the two friends know that your roommate doesn't like to study and isn't really suited to being a doctor.)

		1	2	3	4	5
8	A tries to avoid hurting your roommate's feelings and says, "Cool! Hang in there!"					
9	B asks the reason why your roommate wants to be a doctor and frankly says what he/she thinks of the idea.					

Comments:

--

**5. Complaints**

Situation: It is midnight. You are having a party in your apartment, and it seems that your neighbors (A, B, and C, also students) are bothered by the loud music. (Imagine that you have not been living in this apartment very long, and you have had several noisy parties.)

		1	2	3	4	5
10	A doesn't say anything to you. He/she goes to the landlord the next day and asks him to do something about the problem.					
11	B knocks on your door and mildly says, "It's pretty loud for this time of night."					
12	C knocks on your door and says strongly, "It's too noisy. I can't sleep. Turn it down!"					

Comments:

--

**6. Apologies**

Situation: You are sitting on the grass reading a book. Nearby, some students are playing Frisbee. Two of them (A and B) accidentally bump into you.

		1	2	3	4	5
13	A says with an embarrassed smile, "Sorry."					
14	B looks serious and says, "Sorry. Are you hurt?"					

Comments:

--

**7. Disagreeing**

Situation: You are taking notes during a lecture in a class of about 30 students. Some female students sitting near you (A, B, and C) seem to disagree with something the teacher says.

		1	2	3	4	5
15	A has a puzzled expression on her face. She doesn't say anything, and she continues taking notes.					
16	B whispers to the student next to her, "But I think it's □□□."					
17	C raises her hand immediately and says, "I think it's □□□ .. Is this answer also possible?"					

Comments:

### 8. Requests (3)

Situation: The room where the tennis club meets is hot. Three third-year male students, (A, B, and C) ask first-year students who are sitting near the windows to open them.

		1	2	3	4	5
18	A looks at one student and says, "Open the window."					
19	B looks at another student and says, "Could you please open the window?"					
20	C fans himself and says, "It's hot in here."					

Comments:

### 9. Requests (4)

Situation: These two female students (A and B) receive a monthly allowance from their parents. This month they have some unexpected expenses. You hear them asking their parents for an extra \$300 over the phone.

		1	2	3	4	5
21	A says, "Mom, I'm sorry, I'm a little short on cash this month. Send me a little bit of extra money, about \$300, because ..."					
22	B says, "Mom, I was wondering if I could have some extra money this month. I'll need about \$300 because ...."					

Comment:

### 10. Responding to compliments

Situation: Four male students (A, B, C, and D) have come to school today wearing suits because they will be having employment interviews after class. Their teacher says, "You look nice today. You've got a job interview, haven't you?" (Imagine that all four students like their suits.)

		1	2	3	4	5
23	A shakes his head and says humbly, "I don't look good in a suit yet."					
24	B says, "Really? I'm not used to wearing a suit. Don't I look a little					

	strange?"									
25	C looks a little embarrassed and says, "I'll do my best at the interview."									
26	D looks pleased and says, "Thank you."									

Comment:

--

Please fill in the following information:

Date:	Age:	Male___ Female___ (Please √)	Nationality:
Have you ever lived in a country other than the USA? Yes___ No___ (Please √)			
If yes – How long?		Where?	

**Thank you for your cooperation.**